

# 紫峰の風

shihou no kaze



第8号 2018年4月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部会の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められております。



写真左上から：入学式会場の大会館講堂前の新入生と保護者、学長式辞  
会場を埋めつくす新入生たち、「IMAGINE THE FUTURE~ 未来を想え」を歌う歌手のポール・バラード氏

### 平成30年度 筑波大学入学式・大学院入学式

4月6日、平成30年度筑波大学入学式・大学院入学式が大会館講堂で盛大に挙行された。今年は春の訪れが早かったため学内の桜の多くは散り始めており、当日はピンク色の花びらよりも緑色の葉の方が目立っていた。午前は曇り気味であったが、午後になると日が差し込んできた。

午前の学群・理療科教員養成施設の入学式では、2,176人の学群生及び96人の編入学生、16人の理療科教員養成施設への入学生が新しく筑波大学の仲間となった。また、午後の大学院入学式では2,407人の大学院生が入学した。

開式の前に混声合唱団による学生歌「常陸野の」の合唱、管弦楽団による演奏が行われた。式は学長式辞から始まり、次に役職者紹介が行われた。最後に歌手のポール・バラード氏と他4人の学生による歓迎の歌「IMAGINE THE FUTURE ~未来を想え」で式は幕を閉じた。

入学式後の新入生は、その後行われた各学類のオリエンテーションと新入生歓迎祭本祭に参加し、初めての大学生活を満喫していた。(取材/広報部会 仲清峻・知識4年)

### 今後の主な予定 (変更になる場合があります)

春季スポーツ・デー	5月12、13日
宿舍祭	5月25、26日 (27日予備日)
春ABモジュール期末試験	6月26日~7月2日
紫峰の風第9号発行予定	7月下旬
春ABCモジュール期末試験	8月1日~7日
同(東京・夜間)	7月24、25日、8月2日~4日
春学期授業終了	8月7日
同(東京・夜間)	7月28日
期末試験予備日	8月8日
同(東京・夜間)	7月31日、8月1日
夏季休業	8月9日~9月30日
同(東京・夜間)	8月5日~9月30日

### —内容—

キャンパスニュース、学生の一週間	
スチューデント・コモンズ紹介	1頁
学生生活課より、筑波大学のキャリア形成・就職支援	
紫峰会基金より、桐の葉日記、	2頁
筑波大学の風景、お知らせ	
特集：筑波大学の6つのエリア	3頁
文サ連、芸サ連、全代会、体育会活動紹介	
学生相談室から	3、4頁

## キャンパスニュース



学長による学位記授与



応援部 WINS による卒業生へのエール

### 平成29年度 筑波大学卒業式・大学院学位記授与式

3月23日、今年度は筑波大学大会館講堂にて平成29年度学群・理療科教員養成施設卒業式および大学院学位記授与式が行われた。午前の学群卒業式では学群卒業生2,230人および理療科教員養成施設卒業生18人、午後の大学院学位記授与式では大学院修了生2,310人が、晴れ渡る空の下、新たな一歩を踏み出した。

永田恭介学長は式辞で、卒業生に向けて「地球上で起きている諸問題の解決のためにはあらゆる分野の知の動員、新たな科学と技術の力が必要であり、皆さんがその中核を担うことになる」と、期待の言葉を述べ「本学で身につけた幅広い学識と深い専門力、そして強靱な自立心を基盤に、TSUKUBAから世界に飛び出して、ヒトと地球の未来を切り拓いてほしい」と締めくくった。卒業生代表謝辞では、比較文化学類の杉山萌依子さんが「筑波大学で得た経験と成長を糧とし、力を尽くして明日からの日々を精進してまいります」と述べた。それぞれの式の最後では筑波大学のメッセージソングである「IMAGINE THE FUTURE ~未来を想え」が歌われ、卒業生・修了生は送り出された。

筑波大学大会館講堂外の広場には、サークルなどの後輩が集まっていた。式が終わり、卒業生たちが式場から出てくると、あちこちで胴上げや記念撮影が行われた。応援部WINSのエールや、後輩たちの祝いの言葉のなか、卒業生たちは盛大に門出を祝福された。

(取材/全学学類・専門学群代表者会議 十川澄・資源2年)



受験番号を確認する受験生



上級生から歓迎される新入生

### 合格発表

3月7日、あいにくの曇り空の下、筑波大学個別学力検査等(前期日程)の合格発表が行われた。

何も書かれていない紙で覆われた掲示板を不安げな面持ちで囲う人達。紙が破られ合格者の受験番号の掲示板が現れるのと同時に、待ち構えていた受験生やその親などが一斉に各々の受験番号を探し始めた。自分の番号を指差し、親子や友人同士で抱き合う様子が見受けられ、合格の喜びに嬉し涙する者もいれば、逆に残念ながら悔し涙を流している者もいた。毎年恒例であるアメリカン・フットボール部による合格者の胴上げや万歳による祝福が今年も行われ、記念に受験番号や祝ってくれた人達と一緒に写真を撮っていた。

今日という日の一つの節目として、多くの高校生が各々の未来に向かって一歩ずつ歩いていくことであろう。

(取材/全学学類・専門学群代表者会議 十川澄・資源2年)

### 新入生歓迎祭を終えて

今年度も新歓祭本祭が入学式と同日の4月6日に開かれ、例年通り、入学式を終え爽やかな表情をした1年生を、多くのサークルが出迎えました。

今年度の本祭当日は風が非常に強く、無事に新歓祭本祭を終えられるか不安ではありましたが、幸い降雨や事故などには至らず、どの企画も成功をおさめることが出来ました。

このように大きなトラブルもなく本祭を終えることができたのは、新歓祭参加団体の皆様や、相談に多々応じていただき、また運営のための援助金を支給して下さった紫峰会基金をはじめとする学生生活課の方々、また、三系の運営委員によるところが大きくありました。上記の方々はこの場を借りて心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

(寄稿/2018年度筑波大学新入生歓迎祭推進委員会委員長 南陽花梨・日4年)

## 学生の一週間

ここでは、学生2名の一週間のスケジュールを例に、筑波大生が実際にどのような生活を送っているのかを紹介します。今回は秋学期Cモジュール（12月～2月）です。

### 1年生 Nさん

日本語・日本文学類に所属する1年生Nさんは、毎日の授業や課題に加えバイトに3つのサークルと、忙しくも充実した生活を送っています。空き時間を効率よく使って友人との交流や趣味を楽しんでいるようです。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠		睡眠	睡眠	睡眠		睡眠
7	起床	睡眠	起床	起床		睡眠	
8					起床		
9	授業		授業	授業	授業		起床
10		昼食	課題			起床	
11				昼食	昼食		家事
12	昼食		授業			掃除・洗濯	
13	課題			友人と交流	友人と交流	昼食	昼食
14		授業	友人と交流	授業	課題	サークルの自主練習	サークルの自主練習
15	授業						
16	課題	休憩	課題	サークルの自主練習	サークルの自主練習	休憩	休憩
17							
18	サークル	バイト	サークル	サークル	サークル	課題	課題
19							
20	夕食						
21	自由時間	夕食	サークルの人と夕食	サークルの人と夕食	サークルの人と交流	買い物	夕食
22		趣味				夕食	自由時間
23	課題		課題	課題	課題	自由時間	課題
24		課題				課題	
1	風呂等				風呂等	風呂等	風呂等
2		風呂等	風呂等	風呂等			
3	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠

### 1年生 Sさん

情報科学類に所属しているSさんは空きコマが多く、特に水曜日は休みとなっています。したがって火曜日は夜更かしをすることが多くなります。とはいえレポートがあるので勉強時間をしっかりとります。自由時間にはゲームやプログラミング等をしています。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	動画鑑賞	睡眠	睡眠		睡眠
7	起床	起床		起床	起床	睡眠	
8			睡眠				睡眠
9	授業	授業		授業	授業		SNS
10						SNS	
11	昼食	昼食	起床	昼食	昼食		
12					友人と会話・課題		
13	授業			授業	授業		
14							
15		授業					
16	ゲーム		動画鑑賞			外出	ゲーム・動画鑑賞等
17				課題			
18	夕食	動画鑑賞			課題		
19							
20			夕食等	バイト・夕食	夕食・風呂	夕食	
21	ゲーム		風呂等			風呂等	夕食
22		プログラミング等の勉強			SNS	SNS	風呂
23		友人と食事等	SNS	ゲーム		SNS	SNS
24							
1	風呂等		睡眠	風呂等	睡眠	睡眠	睡眠
2	SNS			SNS			
3		動画鑑賞		睡眠			

## 留学情報

## スチューデント・コモンズ紹介

グローバル・コモンズ機構

日本人学生と留学生とが日常的に国際交流が行える交流の場として、スチューデント・コモンズがあります。国際交流に係わるイベントが多数開催され、海外留学を目指す学生のための説明会や個別面談等、日常的に各種留学サポートを行っております。

昼休みや空き時間にはコミュニティスペースとして、勉強会やミーティング、友達のおしゃべりなど自由にお使いいただけます（飲食OK）。



スチューデント・コモンズの様子

### <留学相談デスク>

海外経験のある学生スタッフが本学の留学情報の提供を行います。

大学の交換留学制度、短期プログラムを活用した学生スタッフや、バックパッカーとして世界を旅してきた学生スタッフなど、さまざまな経験を持つ学生スタッフがいますので、是非カウンターに話を聞きにきてください！

■対応時間 平日 10:00-17:00

### <ライティング・ヘルプデスク>

「留学に興味があるが考えがまとまらない」  
「英文の書類をチェックしてもらいたい」  
「英語のライティングスキルを高めたい」  
・・・そう思ったことはありませんか？  
ライティング・ヘルプデスクでは、留学経験のある大学院生アドバイザーが英文書類作成のサポートや留学情報の提供を行います。ぜひお気軽にご利用ください。（予約優先）

■対応時間 平日 14:00-17:00

■予約方法

スチューデント・コモンズのカウンターで直接申し込むか、電話・Eメールにて随時受け付けます。  
※予約スケジュールや予約先についてはポスター（.pdf）をご確認ください。

### <図書の出貸について>

※現在は休止しています。2018年7月以降、再開予定です。  
TOEFL、TOEIC、ビジネス英語や専門英語などの教材を多く取り揃えており、貸出も可能です。  
貸出期間は、2週間です。1度に2冊まで借りられます。  
1回延長（さらに2週間）が出来ます。

### <国際交流イベント>

スチューデント・コモンズでは、さまざまな国際交流イベントや留学に関する説明会やセミナーが開催されています。国際交流イベントの一例として、下記のような留学生とのコミュニティ形成の場を提供しています。

#### ○Global Chat

- ・English（英語による交流）
- ・Multilingual（様々な言語による交流）
- ・Culture（異なる文化や社会について話し合いながら交流）

### お問い合わせ

スチューデント・コモンズ（対応時間 10:00-17:00）  
Tel: 029-853-7828

### 運営組織

グローバル・コモンズ機構

### スチューデント・コモンズ

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/gc/sc?language=ja>



※1A棟耐震工事のため、スチューデント・コモンズは中央図書館2階キャリアゾーン（ゲートを入ってつきあたりのエリア）に移設されました。2018年6月末（予定）まで中央図書館で業務を行います。

学生の父母等の皆様へ **正体を隠した悪質な宗教団体の勧誘被害を防ぐために** 学生部学生生活課

毎年、入学式後のサークル勧誘時期には「学生サークル」、学生生活に慣れてくると「ゼミや勉強会」、就職活動の時期になると「就活相談」などと称して、宗教団体が正体を隠し学内において、親切・丁寧な声掛けで勧誘活動を行っています。いったん参加してしまうとマインドコントロールが進み入会(入信)に至り自分の意志で脱会することが難しい団体が多いようです。

**【新入生や就活生がターゲット?】**

正体を隠して悪質な勧誘を行う宗教団体は、右も左も分からない新入生や就活に悩みを抱える学生をターゲットに、一見宗教団体と分からないような巧妙な手口で勧誘を行ってきます。「わたしはそんな変なことにだまされるはずがない」と思っている人ほど要注意です。

本学においては、授業(フレッシュマン・セミナー)や各種配布物、ポスターを通じて注意喚起するなど、その対策に取り組んでいますが、勧誘される側の学生に危機感がないことから、被害に遭う学生が後を絶たず、入会している上級生もいる状況です。

**【本学での宗教団体の活動実態】**

学生サークル等になりすまして勧誘している宗教団体は、大学周辺のアパート、マンション等の一室や一軒家を借りて活動の本拠地にしています。上級生に言葉巧みに勧誘された新入生は、徐々にマインドコントロールにかかっていきます。ようやく宗教団体であることを告げられる頃には、マインドコントロールも終わり上級生との信頼関係も構築され活動を続けてしまうようです。2年生になると、今度は自らが新入生を勧誘する側になります。

本学では、勧誘を受けた学生や途中で脱会した学生などから、多くの情報を得ておりますが、ある宗教団体では、Web上に「新入生の生活相談」等のブログを作るなど、巧妙な勧誘を続けて毎年10名以上の新入生の勧誘に成功しているようです。

**【本学における宗教活動の制限】**

一般生活上においては、思想・信条の尊重(信仰の自由)・自治的活動(結社活動や意見表明の事由)を理由なく制限することはできませんが、本学では、『国立大学法人筑波大学学生の活動に関する法人規程』において、学内における特定の政党を支持する政治活動や特定の宗教のための宗教活動を禁止しています。その大きな理由は次の3つの現実的理由からです。

①サークル活動であれ、宗教活動であれ、学生の本分である学業を圧迫するものは問題です。宗教団体は、学生に勧誘や献金のノルマを課します。授業時間以外は、朝から夕までキャンパス内で勧誘を行い、夜はアパート等へ訪問伝道に行ったり、集会参加の旅費や献金のため膨大な時間をアルバイトに費やしたりすることにもなります。

②正体や活動目的を隠し、マインドコントロールを駆使して勧誘を行う団体は、それ自体が個人の自由な意思決定を阻害しているといえます。また、そのような勧誘行為を行う学生も、かつては十分な情報や適切な説明を受けずに入信した被害者であり、勧誘する者、される者とも早期の対応が必要となります。

③大学教育、特に1年、2年においては、学生の柔軟で自立的な思考能力を涵養することが大きな教育目標です。したがって、この時

期に特定の宗教的信条や人生観のみを教え込み、学生の視野と活動を一定の範囲に囲い込むことは教育上問題です。学生自身が自ら選択した結果だとしても、リベラルアーツの考え方や自分が自分らしく生きるといった現代的理念から考えると大いに問題があるといえます。

**【勧誘事例】**

事例1

学食で福祉サークルを名乗る先輩から勧誘を受け、一度参加した際に優しく迎え入れられた。その後は、毎日電話が来るようになり、風邪をひいて休んだ時には手紙をもらい、感激した。4月後半に1泊2日の合宿に誘われて参加した時に、宗教らしい内容の講義があったため、先輩に「宗教団体ですか?」と尋ねたが、「違うよ。自分を高めるための勉強だよ。」と言われた。しかし、違和感を払拭できず、クラス担任に相談したところ、学生生活課へ相談するよう勧められ、その後、自ら辞める決意をした。

事例2

学内を歩いていた時に、2年生から「人生の目的を考えるサークル」に誘われた。一度は断ったものの、自分の連絡先を教えちゃい、何度も誘われたため参加することにした。毎日、大学の外にあるマンションの1室に通い、「人生の目的」について先輩からの話を聞いた。5月には、「新勧合宿」に誘われ、「仏教に説かれている絶対の幸福」について徹底的に話し、徐々に仏教系の「宗教」であることを告げられるが、優しくしてくれた先輩方を裏切れない気持ちで、そのまま宗教団体に入ってしまった。2年生になるとときには、新入生を勧誘する側となってしまった。

**【最後に】**

これまで、信仰の自由を尊重するということから、宗教等の勧誘に対し大学がきちんと対応しにくい面は確かにありました。しかし、筑波大生として受け入れた以上、学生が悪質な勧誘を行う宗教団体の被害に遭うことのないよう、大学が予防に尽力すべきだということは言うまでもありません。これらの宗教団体の活動について、予防教育や情報を提供し被害を最小限にとどめることは大学の重大な責務です。

本学では全学生向けの広報誌や新入生向けの冊子等でも悪質な勧誘を行う宗教団体についての注意を再三呼び掛けていますが、巧妙な手口により騙される学生が少なくありません。

信者になった学生は、家族、友人、先生からの忠告を一切受け入れず、宗教団体の教えの下に行動し、そして、また騙して勧誘する側になるのです。

保護者の皆様におかれましては、不審な勧誘に騙されないように帰省や電話等での連絡の際に、お子様に注意を促すとともに、このようなことで困ったときには、直ちに大学の総合相談窓口や学生部学生生活課に相談してください。

※この記事は、個人の信仰を批判するものではなく、悪質な勧誘に騙されないよう注意を促すものです。

- 総合相談窓口 029-853-8430
- 学生部学生生活課 029-853-6092,2245,2246

就職特集 **筑波大学のキャリア形成・就職支援**

筑波大学における就職支援は、DACセンター／就職課によって行われています。また、「キャリア支援担当教員会議」を設置し、各教育組織と連携し、より一層支援に当たっています。

企業への応募にあたっては、人物が重要視され、自己表現をしっかりする必要があります。従来のような就職活動では思うような内定を得られません。現在は、よりリアルな情報が大切です。DACセンター／就職課では自己理解・自己発見のために就職相談にのっています。また、学生の就職活動が円滑に行われるように、就職ガイダンスや学内企業説明会、就職サポーター制度の実施、就職先の開拓、就職情報の収集と提供、卒業生の進路先把握などに積極的に取り組んでいます。

学生の就職支援のためホームページを開設しています。各種就職情報の提供及び進路希望等の届出は、このHP上で行われています。進路希望調査の入力は、就職活動の初期段階で必要となります。このシステムは、インターネットを利用して、企業の求人情報、教員・公務員の採用試験情報、ガイダンス情報、学内企業説明会情報、就職活動に特定したOB・OG名簿、内定・試験受験レポートなどの情報を迅速に提供することにより学生の就職活動を支援するものです。

就職活動の時期については、今年は、企業等の採用選考は3月1日会社説明会解禁、6月1日採用選考解禁、10月1日以降内定とはなっているものの、経団連に加盟していない外資系企業等などが、独自の採用活動を行うなどの事例がありましたので、正確な情報収集に努めることが大切です。DACセンター／就職課では、就職活動のサポートとして、就職活動の流れ・自己理解・面接対策等の各種就職ガイダンスや業界研究及び学内企業説明会を開催し、早い段階から学生が「就職」への意識向上・活動意欲を高められるよう情報提供や支援を行っています。



学内企業説明会

ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)／学生部就職課

企業への就職については、景気の浮揚に伴い、売り手市場とされています。しかし、人物本位の厳選採用を明確にし、その時々企業の戦略や、置かれた環境に応じて自らが行動できる、即戦力となる人材を採用するという方針に変わりはありません。

また、企業の人事担当者によると「コミュニケーション能力がある学生、問題解決能力のある学生、クリエイティブな発想を持った学生」を求めているということです。これからの学生生活の中で、自分のスキルを高めるだけでなく「自分は何をしてきたのか、何ができるのか、何をしたいのか、それをどう今後に活かすのか」を見極める自己理解・自己発見をし、自分を表現することが必要となります。このため、DACセンター／就職課では、1、2年次生のうちから学生生活を充実させ自立的な行動が取れるよう、総合科目として「キャリアデザイン-働く自分-」、「Career Development in Global Context」を開設しております。更に新入生全員につくばキャリアポートフォリオ(ファイル)を配付して、在学中のさまざまな経験や気づきなどを記録し、自身の進路選択に役立てるようにしています。

教員・公務員を目指す学生については早い時期から筆記試験突破のための準備が必要です。DACセンター／就職課では、教員・公務員試験合格のために、さまざまな各種試験対策講座を実施しています。

採用試験の面接では人物を重視する傾向が強くなっています。勉学や課外活動など学生生活の中で経験する一つ一つの積み重ねが、よい結果につながります。ぜひとも有意義な大学生活を送られることを願っています。

**【DACセンター／就職課問合せ先】**

- キャリア・就職相談 029-853-8444
- 企業・団体関係 029-853-6091
- 教員・公務員関係 029-853-2249



学生部就職課ホームページ

<http://syushoku.sec.tsukuba.ac.jp/career/>

# 第44回やどかり祭

テーマ"祭馬鹿 ～今年もみんなで祭履修～"

前夜祭:5月25日(金)  
本祭:5月26日(土)

※雨天の場合、前夜祭は中止、本祭は5月27日(日)に順延  
場所 筑波大学平砂学生宿舍周辺

○前夜祭 5月25日(金)16:30～21:30  
・野外ライブ…ステージ上での音楽系サークルによるライブ演奏  
・トーチトワリング…火を灯したトーチ棒を用いたパフォーマンス  
・火文字…今年のテーマに沿った火文字が前夜祭を締めくくる

○本祭 5月26日(土)11:00～21:00  
・本祭オープニング…本祭開催を宣言するオープニングセレモニー  
・やどかりダンス…筑波大学内のダンスサークルによるダンスパフォーマンス  
・大学生クイズ…筑波大学生のクイズ王決定戦  
・御輿…新入生自作の御輿の練り歩きとパフォーマンス  
・ゆかたコンテスト…やどかり祭の目玉企画

この他にも前夜祭、本祭共通で模擬店やミニステージ&大演芸、縁日が開催されます。また今年は昨年好評だったお餅つきを体験できる餅つき企画もございます。

○会場アクセス  
つくばセンターバスターミナルより、「筑波大学中央」行き、または筑波大学循環バス「平砂学生宿舍前」下車。当日は会場周辺で交通規制を行います。また、付近の駐車場も閉鎖致しますので、自家用車でのご来場は出来る限りお控えください。



昨年度の様子 (大学生クイズ)



昨年度の様子 (会場を歩き交う学生たち)

## 平成29年度 課外活動団体援助金系別配分額について

平成29年度課外活動団体援助金の総額は2,050万円で、2月21日の紫峰会基金運営委員会にて通常活動に対する一般援助金を1,000万円、宿泊交通費に対する遠征援助金を1,050万円とし、系別配分額が承認されました(下図参照)。

系別配分額は全課外活動団体から提出された過去1年間の収支計算書を三系それぞれで査定・集計し、学生財務会議(文化系サークル連合会、芸術系サークル連合会、体育会、全代会の代表者で構成)で議論・作成したものです。

その後、全ての課外活動団体に対して課外活動団体援助金を支給しました(4ページ参照)。

平成29年度 紫峰会基金課外活動団体援助金系別配分額 (円)

		文サ連	芸サ連	体育会	合計
援助金総額	援助金総額	1,135,860	3,135,223	16,228,917	20,500,000
	総支出	30,058,167	82,722,809	395,417,337	508,198,313
一般援助金	援助金額	742,613	1,970,823	7,286,564	10,000,000
	総支出	20,081,293	55,303,533	208,686,141	284,070,967
遠征援助金	援助金額	393,247	1,164,400	8,942,353	10,500,000
	総支出	9,976,874	27,419,276	186,731,196	224,127,346

## 紫峰会関係文書を筑波大学アーカイブズへ寄贈

平成29年9月10日付けで、元紫峰会会長佐野様から紫峰会関係文書105点が筑波大学アーカイブズへ寄贈されたことが、紫峰会基金運営委員会で報告されました。寄贈された文書は平成29年11月6日から公開となっており、WEBページでも公開されています。主に関係会議の記録文書、紫峰会報、課外活動白書、紫峰会が発行した印刷物となっています。

筑波大学アーカイブズWEBページ：<https://archives.tsukuba.ac.jp/>

## 寄贈した文書

紫峰会理事会資料、筑波大学紫峰会連携協議会資料、紫峰会報、紫峰会事業案内、紫峰会入会案内、筑波大学課外活動団体会計マニュアル、筑波大学学年暦カレンダー、筑波大学課外活動白書、筑波大学体育会機関紙「紫峰」等

## 桐の葉日記

冬の寒さも過ぎ去り、吹く風も柔らかな季節となりました。例年より暖かい日が続いたことにより、木々もすっかり芽吹き緑色も日一日と濃くなっております。皆様どうお過ごしでしょうか。

今回はこの「紫峰の風」第8号の特集記事を担当させていただきます。私にとって初めての「紫峰の風」の編集ということもあり、戸惑う部分も多々ありましたが、取材をする中で普段の生活では触れられない様々な事を知ることができました。

特に今回の特集のテーマは、「筑波大学の6つのエリアの紹介」です。私は普段、主に春日エリアという筑波キャンパスの最南端に位置するエリアで勉学に励んでいます。そのため、現在2年次の私にとっても、自分のエリア以外についてあまり知る機会というものは多くありませんでした。これから新たな一歩を踏み出すための生活の場や、その他個性豊かな仲間とともに過ごす広い筑波大学について知る一つの機会として、今年ご入学された新入生の方々やその保護者の皆様のお役に立つことができれば幸いです。

最後になりましたが、今年度もどうぞ「紫峰の風」をよろしく願いたします。

(文責/体育会広報局長 安斎彩季・創成2年)

## 大学の風景



第二エリア駐輪場から見た晴れた日の青空



桜が咲き誇る春日エリアの駐輪場

## 宿泊施設・館内食堂のご案内

紫峰会基金協力者と旧紫峰会会員の方は1泊200円割引します

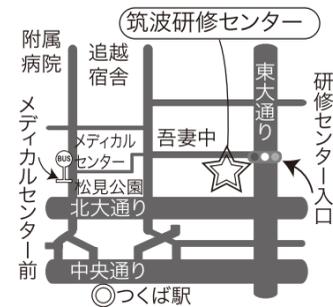
### 筑波研修センター

- ・1泊3700円より(食事別)
- ・シングル145室・ツイン5室・和室5室

筑波大学同窓会「茗溪会」の関連法人「(一財)筑波学都資金財団」が運営する宿泊施設です。電話予約は7時から24時まで受け付けています。割引対象の方は予約受付の時にお申し出下さい。

### 館内食堂 こうせい

- ・朝食300円より
- ・定食750円より
- ・バイキング形式、懇親会、パーティも承ります。内容、料金など気軽にご相談ください。(座席80名・立食可)



〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5  
Tel 029-851-5152 Fax 029-851-8886  
E-mail center@meikei.or.jp  
URL <http://www.meikei.or.jp/~center/>

## 第1期分授業料納付期日のお知らせ

平成30年度第1期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座引落の方は5月25日(金)までに指定口座へご入金下さい。また、引落口座を開設していない方へは振り込み用紙を送付しておりますが、原則として口座引落による納付としておりますので、第2期分以降は口座引落となるよう手続きをお願いいたします。

金額 267,900円(ただし、法科大学院は402,000円)  
引落日 5月28日(月) 納付期限 5月31日(木)

■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入)029-853-2161

## 紫峰の風 第8号 2018年4月発行

発行 事業開発推進室  
編集 学生部学生生活課 学生広報会議  
山岸素子・知識2年、舟久保拓哉・情報2年  
川村風太・生物3年、戸口海人・比文2年  
安斎彩季・創成2年、十川澄・資源2年  
徳永光太郎・医学2年  
広報部会  
黒川真臣・生命環境3年、米山和文・数理物質2年  
仲清峻・知識4年  
タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
電話:029-853-5886  
E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp



### 第一エリア

第一エリアには、約190万冊の蔵書を誇る中央図書館や、学生の支援等を行う学生センターがあります。また、第一エリアには多くの留学生がおり、休み時間は国際交流が盛んとなっています。今回は化学類2年生に聞いてきました。

主な利用学類  
人文学類、社会学類  
数学類、化学類  
物理学類、地球学類

①総合科目で第一エリアを通る際、道が狭いため自転車の往来で混雑が避けられません。



第一エリアの月曜の混雑

# 6つのエリア

筑波大学には、追越/平砂宿舎エリア、一の矢宿舎エリア、学生会館エリアの他に学生が勉学のために使用する6つのエリアが存在します。しかし新入生にとってはもちろんのこと、在学生にとっても自分が普段活動しているエリア以外はかなり謎に包まれています。そこで今回はそれぞれのエリアが主にどの学類にどのように使われているのか、実際にそこで活動している学生に聞いてみました。

### 第二エリア

主な利用学類  
比較文化学類、日本語・日本文化学類  
教育学類、心理学類、障害科学類  
生物学類、生物資源学類

①2G棟は、主に日本語・日本文化学類が使用しています。

②比較文化学類1年は、主に2B、2C、2D棟を使用しています。心理学類は2B棟が多いです。



2A棟3階学生控室

第三エリアと並び筑波キャンパスの中で最北端に位置するエリアです。今回は比較文化学類の2年生に話を聞いてきました。

④2A棟には学生控室があります。空きコマの暇な時昼食をとったり、授業内で決められた班でのミーティングなどを行うのに使います。昼食は、主に1階にある粉とクリームのパン、食堂のお弁当、または自分で作ってきたお弁当を食べる人もいます。また、教育学類は主に2A棟を利用しています。2B、2C、2Hを使うこともあります。



粉とクリーム館

③石の広場周辺の棟には主に研究室があり、学生はあまり立ち入ることはありません。特に中央図書館前のこの棟は人文社会学系棟、通称「人社棟」と呼ばれています。先生との面談で稀に入ることがあります。

### 第三エリア

主な利用学類  
国際総合学類、情報科学類、工学システム学類  
応用理工学類、社会学類

隣り合わせの第二エリアの学生によると、意外にも未知のエリアのようです。今回は情報科学類の2年生に取材をしてきました。

⑥このエリアの学生が利用するバス停は主に第三エリアか第一エリアのバス停のようです。



②ここにあるエントランスホールは主に待ち合わせなどで使います。

①工学システム学類は普段3Aまたは3L棟を使用することが多いです。

③3A棟1階には食事をする場所が多くあります。昼食の時間になると食堂はかなり混みます。その横に名店街もあります。情報科学類は基本3A、3C（たまに3B棟）を使用しています。



エントランスホール

④機室と呼ばれるパソコンが多く置いてある3C205、3C113、3C206という部屋が入っています。主に授業と課題で使います。プログラミングの期末レポートなどがあるのが理由で、テスト前になると大混雑します。

⑤この3E棟には「openfab創房」という機能複合型多目的実習室があります。現在は情報科学類・情報メディア創成学類の講義・実習に利用されています。しかし「welcome hour」というものがあり、どの学類の学生も利用できます。3Dプリンタやレーザー彫刻機、その他たくさんの機材が置いてあります。

### 体育・芸術エリア

体育・芸術エリアには、中央体育館や陸上競技場、芸術系の工房などの施設が充実し、学生の身体的・芸術的ポテンシャルを高め、引き出してくれます。このエリアでは、体育専門学群、芸術専門学群の学生の他にも多くの学群の学生が集まり、学生交流が盛んなエリアでもあります。今回は応用理工学類2年生に聞いてきました。

主な利用学群  
体育専門学群  
芸術専門学群

①よく中央体育館のトレーニング場を借りて筋トレをしています。



### 医学エリア

医学エリアは、附属病院やその他医療関係の研究施設を擁し、日本の医療を日々進歩させています。医学群ではそういった施設での実習を通じて、各方面の医療プロフェッショナルを養成しています。今回は医学類2年生に聞いてきました。

主な利用学類  
医学類、看護学類  
医療科学類

②医学図書館はほかのエリアにはないような高度な医学書を扱っています。



医学図書館

①医専体という体育館があり、勉強の後はそこで部活で汗を流しています。

### 春日エリア

筑波キャンパスの中で最南端に位置するエリアです。他のエリアの学生からは、あまり行く機会もなくどのような場所なのかかわからない...という声が多数上がりました。どのような場所なのでしょう？今回は情報メディア創成学類の2年生に聞いてきました。

主な利用学類  
知識情報・図書館学類  
情報メディア創成学類



入り回廊階段

①普段はこの7A棟で勉強をしています。入ってすぐのところには「シンデレラ階段」と呼ばれる階段があり、その下にあるソファではよく学生が話し合い等を行っています。この棟の奥には、第三エリア同様「機室」と呼ばれる、パソコンがたくさん置いてある部屋があります。1階に知識の機室、2階に創成の機室があり、授業やプログラミングの課題をやるのに使います。特に創成の機室は24時間開いていて、課題の提出日の前日などは夜遅くまで学生がいることもあります。

③ここは研究室が多く入っています。

②食堂の脇にある春日ラウンジ。カップラーメンやパンの自販機なども置いてあります。話し合いをしたい時、軽食を取りたい時などに使うと良いようです。昼食は食堂で食べる学生が多いです。宿舎や自分のアパートに戻って食べる人もいます。

④この中にはクリエイティブメディアラボというmacPCやその他3Dプリンタなどが置いてある部屋があります。何か創作活動がしたい時に便利です。話し合いなどにも使えます。時々授業にも使われています。

## 文化系サークル連合会活動紹介 ～文サ連をもっと知りたい～

### 文サ連紹介

筑波大学には数多くの課外活動団体が存在しますが、それらは全て次の3つの学生組織である文化系サークル連合会（文サ連）、芸術系サークル連合会（芸サ連）、体育会のいずれかに加盟しています。文サ連には37の団体が加盟しており、団体の活動は文学、旅、ボランティア、音楽、体を動かすものなど多岐にわたります。文サ連にはこれらの加盟団体の活動や運営をサポートするという役割があり、以下のような活動を主にしています。

文サ連が日常的に行っていることとして、加盟団体への印刷機の貸し出しと文化系サークル館の会議室の管理があります。文化系サークル館とは大学内にある施設で、芸サ連や文サ連の加盟団体であれば練習やミーティングなどに幅広く利用できます。文化系サークル館にある印刷機は部誌やパンフレット、ビラ等の印刷に役立ててもらっています。広い会議室は人数の多い会議や練習に便利です。

また、Circle Networkという広報誌も発行しています。これは、文サ連に所属する団体の活動内容を紹介するもので、学生、特に新入生のサークル選びに役に立つはずで、互いのサークルについて知ることが交流を深めるきっかけにもなり得ます。

課外活動団体の運営面に関しては、特に会計についてのサポートが重要な内容になっています。課外活動団体と紫峰会基金の間に入って、各団体から援助金に関する査定に必要な書類を集めたり、会計面接を行ったりしています。会計面接には、それぞれの加盟団体の会計状況を把握するだけでなく、サークル運営についても確認し、より円滑な運営を行う手助けをする目

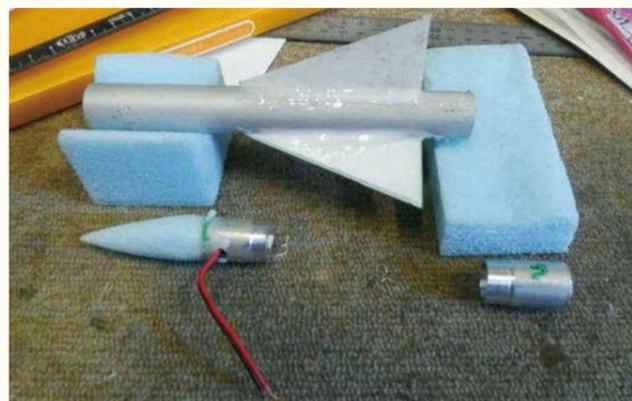
的もあります。

文サ連として行う行事は多々ありますが、その中でも大規模で、芸サ連・体育会と合同で毎年行う重要行事がリーダー研修会です。団体の代表者と次期局員（局員は各団体から1人、文サ連の運営のために選出されています）に参加してもらい、文サ連という組織がどのようなものなのか、文サ連加盟団体はどのようなサービスが受けられるのか、文サ連に所属するために何をしなければならないか等を伝える機会としています。レクリエーションや懇親会を通して普段あまり関わることのない団体の学生と交流を深める機会としても活用しています。

新歓祭も、文サ連における大きなイベントの一つです。新歓祭の他にも、文サ連では加盟団体合同で合同新歓も行い、加盟団体を知ってもらう機会を設けています。

ここまで様々な活動を紹介してきましたが、文サ連を運営するためになくてはならないものが、団体協議会です。長期休暇や祝日を除く毎週月曜日に運営委員長、副委員長、会計局や広報局などの局長で構成されている執行部が集まって、活動報告や議案についての話し合いなどを行って団体協議会の準備をします。団体協議会は月に1回、文サ連執行部と加盟団体の代表者が参加する会議です。文サ連運営や新歓・リーダー研修会などのイベントに関わるものから活動がしやすくなるような提案など様々な議案が審議されます。加盟団体の協力があって文化系サークル連合会は成り立っています。

（寄稿／文サ連運営副委員長 武田あすか・資源2年）



ペンシルロケット製作（組立前）

### 宇宙工学研究会

私達の団体では珈琲からロケットエンジンまで幅広い工作実験や物理数学などの自然科学分野の学習に取り組んでいます。定期的活動としてはペンシルロケット製作や学術書の輪講を行っています。ペンシルロケットの加工には工作機械を使用し金属加工や電子工作の練習も兼ねています。また会員が興味を持ったテーマ・研究の内容から新しく活動の幅を広げていくこともあります。今年は「缶サット」と呼ばれる小型模擬衛星の開発を進め、3月上旬に開催された種子島ロケットコンテストへの参加が叶いました。研究活動では自然科学分野の基礎への理解を深めることを目的に、有志で数学や物理等の勉強会を実施しています。今後も積極的に活動していきたいと思ひます。

（寄稿／宇宙工学研究会 原田謙一・情報3年）



南西諸島における合宿の様子

### 野生動物研究会

当団体は今年で44年目を迎える、文化系サークルの中でも長い歴史を持つ団体です。学内では野生動物研究会、略して“やどけん”という愛称で親しまれており、生物学類生を中心とした生き物好きの学生によって構成されています。その活動は、毎週水曜日に行われるミーティング、夏期・春期休業中に行われる長期間の遠征、学園祭での展示会をメインとして多岐にわたっております。ミーティングでは、各部員が発見・採集した生き物を自由に報告し合い、長期間の遠征では、主に生き物が多く生息する南西諸島へ繰り出します。また、それらの記録は学園祭で展示する予定です。これからもやどけんの応援の方、何卒宜しくお願い致します。

（寄稿／野生動物研究会会長 寺田昂平・生物3年）

## 芸術系サークル連合会活動紹介 ～芸サ連をもっと知りたい～

### 芸サ連紹介

皆さまこんにちは。第42期芸術系サークル連合会運営委員長の稲葉と申します。

「芸術系サークル連合会」と聞いて、ピンとくる方はどれほどいらっしゃるでしょうか。まずこのサークル連合会がどのような組織であるかを紹介いたします。我々芸術系サークル連合会（以下芸サ連）は、芸術系課外活動団体から構成される学生組織です。筑波大学における芸術にかかわる課外活動の向上を期すこと、所属団体の親睦を深めること、そして筑波大学及び茨城地方における芸術の振興を図ることを目的とし、日々活動に励んでいます。その歴史はさかのぼること40年以上前の昭和48年、サークルを運営するうえで生じる様々な問題に、当時の音楽系・芸術系サークルの代表者たちが協力し合い立ち向かおうと、この芸術系サークル連合会が誕生いたしました。そして今なお、学生たちの協力のもと、活動を続けています。

現在、芸サ連には29もの団体が所属しています。これらの団体は、吹奏楽や日本の伝統芸能、そして部活の応援などといった多岐にわたる芸術活動を日々行っています。学生たちは、この筑波大学で勉学に励むと同時に、自分たちのやりたいことに精一杯打ち込んでいます。これを读まれている皆さまは、団体の発表を見たことがあるでしょうか。雙峰祭やその他学内のイベントだけではなく、学外においても公演、展示等を多数行っています。機会がありましたら、是非学生たちの素敵な発表に足を運んでみてください。

そしてこの芸サ連所属団体の活動は、紫峰会基金のご支援の下で続けさせていただいています。いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。支援して下さる皆さまのためにも、芸サ連、そして団体の活動をより発展させていきたいと存じます。これからもご支援の程、よろしくお願ひいたします。

（寄稿／芸サ連運営委員長 稲葉彩月・教育2年）



単独公演「桐華祭」応援メドレーの様子

### 応援部WINS

我々、筑波大学応援部WINSは、「筑波大学を元気にする」をモットーとし日々活動しています。活動としては、硬式野球、アメフト、ラクロス、バスケなどの体育会応援、そして各種ステージ応援を行っています。WINSは3部で構成されています。学ランを着て、暑苦しく動き回っているリーダー部、華麗なダンスやスタンツで観客を圧倒するチアリーダー部、綺麗な音色を奏でて選手の追い風になるアンサンブルバンド部に分かれています。ですが、個別に活動することなく、それぞれの部の特徴を活かした応援を三部一体となってお届けします。また、WINSはいわゆる皆さんが応援団に思ひ浮かべるような旧時代的なものではなく、「楽しくなければ応援じゃない」という考え方に基き、活動しています。応援したい、応援されたいと思われた筑波大学のみならず、是非、ご連絡お待ちしております。

（寄稿／応援部WINS主将 門倉慧・社工3年）



栃木県足利市での依頼演奏の様子

### フォークローレ愛好会

私たちはボリビアやペルーなどといった中南米の民族音楽、「フォークローレ」の演奏を中心に活動するサークルです。「コンドルは飛んで行く」、「花祭り」などの曲を聞いたことのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。OB・OGの中にはプロ奏者として活躍している方もいる、歴史あるサークルとなっております。フォークローレは笛の奏でる雄大な音色と、弦楽器の作る力強いリズムが特徴のとても自由な音楽です。11月の学園祭では中南米料理と演奏が同時に楽しめる「中南米民俗音楽レストラン」を、6～7月と2～3月ごろには定期コンサートを実施しています。また大学近隣から、茨城県内～東京都周辺、関東地区など、様々な地域のイベント等で演奏させていただくこともあります。興味を持たれた方は、ぜひコンサート等にお越しくださいませ。

（寄稿／フォークローレ愛好会会長 小笠原健太・比文3年）



12月に行われた定期演奏会の様子

### 吹奏楽団

当団は、年に2回の定期演奏会を活動の柱とし、他に保育園などへの訪問演奏、小学校での演奏指導、国内アンサンブルコンサートなど、年間を通して幅広く活動しています。

夏季休業中には合宿を行い、定期演奏会に向けて講師の先生によるレッスンなど、密度の濃い練習を行っています。春には長期休業を利用して新潟へ演奏旅行に行き、地元の楽団の方々と共に演奏しております。他にも大学内外を問わず、いろいろな団体と交流をしています。昨年12月の定期演奏会ではヒーローアクション同好会さんとコラボしました。

6月16日（土）に第79回定期演奏会をつくばセンタービル ノバホールにて開催します。曲目は「吹奏楽のための第二組曲（ホルスト）」、「スピリテッド・アウェイ《千と千尋の神隠し》より」等を予定しています。皆様のご来場心よりお待ちしております。

（寄稿／吹奏楽団第40代団長 開田健太郎・社会3年）

## 全学学類・専門学群代表者会議活動紹介 ～全代会をもっと知りたい～



会議の様子



副学長等と全代会構成員との懇談会の様子

### 全代会紹介

新入生の皆さま並びに保護者の皆さま、ご入学おめでとうございます。平成29年度全学学類・専門学群代表者会議(以下、全代会)議長を務めておりました、物理学類4年の鈴見祐悟と申します。このたびは筑波大学の学生組織形態、及び我々全代会の活動趣旨や内容に関して、簡単ではございますが紹介させていただきたいと思っております。

初めに、少し紛らわしい学生組織の形態についてお話しします。筑波大学には多数の学生組織が混在します。中でもまず新入生全員に関係するのが、筑波大生全員が構成員であるクラス制度です。筑波大生は入学すると、学類・専門学群ごとにクラスという組織単位に分類されます。さらに、各クラスから数名、その学類の代表者としてクラス代表が選出されます。クラス代表の集まりがクラ代会となり、該当学類・専門学群の問題解決や学生生活向上に臨みます。そのクラ代会から各学類・専門学群3名選出され組織しているのが、我々全代会でございます。

全代会は、全25学類・専門学群に設置されているクラ代会にて選出された座長団75名で構成されています。筑波大生の生活・教育環境に関する意見・要望を大学に提出したり、筑波大学内の様々な組織と連携したりする他、大学の提示する事業計画に対し、学生の代表として意見を述べるのが全代会の主な業務です。つまり、筑波大生の学生代表であり、学生目線から筑波大生の学生生活向

上を図る組織であるといえます。

さて、次に全代会の構成についてお話しします。要素としては、座長団が参加する会議、それぞれ専門的な事項に関して活動する委員会、全体を統括する議長団の3つでございます。会議では、全学的に問題視されている議題や、学類等から挙げられた意見や要望をもとに作成した議題を審議します。この場で承認された議題は、議長団を通して大学側に提出されます。委員会では、より専門的な業務を6つのジャンルに区別し、各々の委員会ごとに活動を行います。生活環境や教育環境、学内行事の統括、全代会の総務や広報業務等がこれに当たります。議長団は、議長1名・副議長2名で構成され、上述全てを統括する全代会の代表を担っております。

以上が全代会の活動形態ですが、ここで1つお願いがございます。全代会はまだまだ発展段階にある組織で、筑波大学内でも学生目線から取り組むべき問題は尽きません。筑波大生一人ひとりの学生生活をより向上させるため、お気付きの点がございましたら、お声かけいただければありがたく存じます。また、全代会という組織を頭の片隅に置き、今後とも応援していただければ幸いです。新入生の皆さまが大学生活を存分にご活躍できますよう、我々も尽力してまいりますので、よろしく申し上げます。

(寄稿/全代会平成29年度議長 鈴見祐悟・物理4年)

### 新入生歓迎特別委員会について

新入生歓迎特別委員会(以下「新特」)では新入生歓迎行事の企画・運営をサポートしています。対象は学類や学群、専門学群を単位とする新入生歓迎委員会です。新入生歓迎委員会では学類の先輩から新入生にむけて、大学生活の手助けとなる情報交換の機会を各々で設けています。

新特の主な役割は、「新歓ネットを通じた情報共有」と「委員選出の説明」です。

新歓ネットは、各新入生歓迎委員会の代表者に大学側から全代会にもたらされる情報や新入生歓迎行事での決め事を伝える会です。またこの会を通して各種資料の配布や、新入生歓迎委員会内で出た大学への質問への回答を行ったりもしています。

また、筑波大学のクラスにはそれぞれ2名のスポーツ・デー学生委員会への委員の選出が義務付けられています。他にも、各学類・専門学群から学園祭実行委員会へ1名、全代会へ座長団3名の選出が義務付けられています。さらに、学園祭実行委員会は新入生から学園祭学生分担金の徴収を行っています。新特はこれら学生委員会と協力して、新入生歓迎委員会への委員選出義務に関する周知を行っています。

新特では今後も、新入生歓迎委員会が昨年同様にスムーズな新入生歓迎行事を実施できるよう、また新入生が不利益を被ることがないようにその職務を全うしていきたいと思っております。

(寄稿/新入生歓迎特別委員会委員長 石川貴嗣・資源3年)

## 平成29年度 課外活動団体援助金支給状況

紫峰会基金では、毎年三系の加盟団体に対して課外活動団体援助金を支給しています。この援助金は団体が過去1年間活動した際にかかった費用に対する経済的な支援で、学生が中心となって配分額を作成しています。

課外活動団体援助金支給までの流れ

- ①各団体の会計が1年分の収支計算書(団体の)と領収証等を三系の財務局に提出
- ②紫峰会基金運営委員会で課外活動団体援助金の予算額を決定
- ③各系の会計局を中心に提出された収支計算書と領収証等を査定し、折衝用の基礎資料を作成
- ④三系代表学生の自主的な折衝(学生財務会議)を経て系別配分額案を作成
- ⑤紫峰会基金運営委員会で系別配分額案を承認
- ⑥系毎に加盟団体別の援助金額を決定
- ⑦課外活動団体援助金を全団体に支給

なお、各団体の援助金入金確認と利用状況については、毎年全課外活動団体に対して実施している会計面接の中で確認しています。今回は3月末に全140団体へ支給した平成29年度課外活動団体援助金(総額2,050万円)で、系別に援助金額の多い上位10団体を紹介します。

平成29年度 課外活動団体援助金額 TOP10 (円)

順位	文化系サークル連合会	芸術系サークル連合会	体育会	体育会医学部会
1	海洋研究会 211,252	吹奏楽団 447,935	硬式野球部 1,665,717	医学アイスホッケー部 778,642
2	野生動物研究会 126,381	津軽三味線倶楽部無絃塾 406,237	陸上競技部 1,317,910	医学バドミントン部 604,344
3	野外活動クラブ 69,802	管弦楽団 398,981	蹴球部 771,530	医学硬式庭球部 575,675
4	歌留多部 60,143	混声合唱団 313,248	バドミントン同好会 516,328	医学サッカー部 440,156
5	歴史探訪会 38,122	E.L.L.(筑波軽音楽協会) 251,581	馬術部 338,329	医学ゴルフ部 435,714
6	現代視覚文化研究会 36,449	アカベラサークルDoo-Wop 247,479	男子ラクロス部 320,591	医学水泳部 290,623
7	天文研究会 34,096	JAZZ愛好会 171,128	ラグビー部 300,461	医学スキー部 263,774
8	手話サークル 33,879	応援部WINS 162,800	女子バレーボール部 298,754	医学陸上競技部 207,951
9	つくば鳥人間の会 33,003	筑波音楽協会 105,361	女子サッカー部 288,913	医学ヨット部 205,791
10	社会福祉研究会 31,068	ときめき太鼓塾 63,875	男子バレーボール部 285,966	医学卓球部 174,791
	<b>全37団体合計 1,135,860</b>	<b>全29団体合計 3,135,223</b>	<b>全55団体合計 11,319,607</b>	<b>全19団体合計 4,909,310</b>

## 学生相談室から

受付窓口 029-853-2415  
電話相談 029-853-2406

### 「こんなときどうしたらいい? : 学生相談機関のご案内」

#### 保健管理センター学生相談室 田附あえか

保護者の皆様、お子様の筑波大学へのご入学、ご進学おめでとうございます。

今日は保護者の皆様に筑波大学にある様々な相談システムについてお知らせいたします。もっとも一般的な相談窓口としては「総合相談窓口」があります。つくばエリアのチュードプラザと春日エリアの2カ所にあり、予約不要いつでも相談が可能です。なんでも相談窓口で、どんなことでも相談してかまいません。わからないことや困ったことがあればその場で相談に乗りますし、必要があれば関係部署を紹介いたします。学生本人はもちろん、学生についてお困りの保護者や教職員のご相談も承ります。直接来室されてもかまいませんし、お電話でも相談できます。お子様と保護者が一緒に来談される場合もよくありますので、お気軽にお尋ねください。心理相談の専門家である臨床心理士が対応いたします。

また保健管理センター内には学生相談室があります(電話: 029-853-2415)。ここは原則予約制で、一人一人に臨床心理士の担当者がつきますので、継続的に相談を受けたり、ゆっくり自

分について考えたいというご希望に沿うことが出来ます。隣の窓口には精神保健相談があり、精神科医師も常駐しておりますので、医療的サポートを提供することもできます。その他本学には、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター(DACセンター)があり、就職相談、身体障害・発達障害等障がいを抱える学生に関するサポート窓口、ジェンダーに関する課題を抱えた学生への相談窓口等、専門的な相談機関も充実しています。

どの窓口に行ったらよいかよくわからないという場合や、悩んでいるけれども漠然としてうまく話せない場合などは、まずは総合相談窓口にお越しください。開室日は原則平日9:30~12:15/13:30~17:00ですが、変更する場合もあるので大学公式ホームページ(<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/studentplaza.html>)からご確認ください。電話番号は029-853-8430です。すべての相談機関において、ご相談内容の秘密は完全に守られます。どうぞお気軽にご相談ください。

# 体育会活動紹介 ～体育会をもっと知りたい～

## 体育会紹介

筑波大学体育会とは、筑波大学の体育系の課外活動団体によって構成される学生自治組織のことで、開学当初の筑波大学では、数多くの学生団体が設立されましたが、施設・設備、経済的な面において問題が山積していました。大学側への要求のためにも、サークル連合体が必要であろうとの立場から学生と大学との熱心な討議が行われました。その議論を通じて現在の体育会の構想は出来上がり、学生役職者による自主運営というユニークな組織となりました。

現在、本学体育会には、45の部会、8の同好会、18の医学団体があり、その構成員は3,200人を超えます。一般的に「体育会」というと、スポーツで頂点を目指す団体のみを集まりであると考えられる方も多いかもしれませんが、しかしながら、筑波大学体育会では趣味としてスポーツを楽しむ同好会も組織の一翼を担っています。勝利を求めることのみならず、楽しむことや仲間とともに達成感を味わうことといったスポーツの持つ重要な本質も重んじています。

そして、学生自身の手によって運営されている本学体育会には(1)筑波大学における体育

の普及と向上をはかる、(2)体育会に所属する団体の活動を援助し円滑にする、(3)会員相互の親睦と理解を深めるという3つの目的があります。私たち構成員同士が協力し合い、より良い活動を行えるよう努めているのはもちろん、学内に留まらず地域や全国から競技者・子供たちをつくばに集め、スポーツ大会や教室を開くといった活動を学外にも広げています。

このような魅力的な組織づくりができるというのも、ひとえに紫峰会基金への寄附者の皆様のおかげと深く感謝しております。今後ともより一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

(寄稿/体育会執行委員会委員長 神田敬邦・体専3年)



写真左から：第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会、体育会発足式、陸上競技部による小学生陸上教室



稽古風景

## 合気道部

私たち体育会合気道部は、合気道界の主流である「合気会」という流派のもとで、40年以上の長きに渡って活動を続けてきました。現在は10名程の小規模な部ではありますが、週4日の稽古と年2回の大会への参加といった活動を行っています。

合気道とは、大正末期から昭和前期にかけて創始された体術を主とする武道です。現在は柔道や剣道等と並ぶ日本の代表的な武道のひとつであり、その大きな特徴としては、試合がない、ということが挙げられます。武力によって勝ち負けを争うことに否定的で、関節などを合理的に用いた技の技術を磨くことを通して自身と向き合い、心身を鍛えることが目的です。私たちの部では、そんな「戦わない武道」として親しまれる合気道に惹かれた部員たちが日々真摯に、そして楽しく稽古を行っています。

(寄稿/合気道部主将 鈴木日奈・創成3年)



試合の様子

## 男子ラクロス部

ラクロスは、スピード感あふれる試合展開と激しいコンタクトプレーにより「地上最速の格闘球技」と呼ばれています。また高度で緻密な戦術・戦略も求められ、知性や技術力、身体の強さなど、心技体の総合力の高さが重要なスポーツです。私達男子ラクロス部は、昨年度リーグ戦で悲願であった2部昇格(2年ぶり)を果たし、今年度はチーム目標に「1部入れ替え戦進出」、チームスローガンに「超-over-」を掲げて、過去2部で1勝が最高の筑波大学の歴史を塗り超えるべく、チームの競技力・組織力の向上に取り組んでいます。私達は他大学に比べ部員数が少なくラクロス経験者もいませんが、それぞれが個々の強みや競技経験を最大限に還元してチームに貢献し、多様な「個」を集めて歴代最強のチームを創ることに挑戦しています。応援よろしくお祈りします!

(寄稿/男子ラクロス部主務 塚野真純・人文4年)

## 医学部会執行委員会の活動内容紹介

医学部会執行委員会は、委員長、副委員長、広報局長、総務局長、会計局長、財務局長、書記局長の計7人で構成されており、医学部会に必要な業務を行っています。

まず、医学部会とは何なのか紹介したいと思います。医学部会は、東日本医科学生総合体育大会、通称東医体、及びそれに準ずる大会に出ることを目標にした課外活動団体で構成されています。医学部会には、全18団体が所属しており、体育会本部とは別に一定の範囲内で自治を行っています。

平成29年に行われた第60回東医体では、夏季競技終了時点で総合成績が全体で2位という好位置につけているほど多くの部活動が優秀な成績を残しました。各団体の成績を紹介したい気持ちは山々ですが、多くの団体が結果を残しているため文字数の都合上、省略させていただきます。医学部生と聞くと、一見勉強しかしていないのかなという印象を受けがちです。確

かに勉強は大変ではありますが、忙しい中でも時間を見つけ部活動に全力で取り組んでおり、その結果が東医体の成績にも現れているのではないのでしょうか。医学部生以外には、あまり認知されていない大会ではありますが筑波大生の代表として躍動する医学部生を応援してくださいと、とても嬉しいです。

医学部会に所属している課外活動団体の運営がスムーズに進むよう、また、大会でよい成績を残せるようサポートするのが医学部会執行委員会最大の役割です。まだ、発足して4年目というかなり新しい組織ではありますが、体育会本部としっかりと連携を取りながら役割をしっかりと果たせるように全力で活動してまいります。新しい組織ゆえに至らない点も多いとは思いますが、今後ともよろしくお祈りします。

(寄稿/医学部会執行委員会第4代副委員長

松本研朴・医学2年)



スパイクを決める

## 医学バレーボール部

我々医学バレーボール部は、現在総勢34名(男子部:プレーヤー17名・マネージャー4名、女子部プレーヤー13名)で活動しています。第二体育館(通称「医専体」)で週3日、2~4時間程度の練習をしています。部員は医学だけではなく、看護・医療科学類や全学に至るまで広く部員を募り、全員がチームに加わるような様々な大会に参加しています。主に春・秋に開催される医科リーグ・医歯薬リーグ、夏に開催される東医体という5つの大会を目標としています。

バレーボールはチームスポーツであり、個々人の技術を高めることもそうですが、互いを支え合うことがとても大切です。新体制では、自分たちが目指すスタイルを明確化し、それを完成させるべく短期・中期・長期の目標を立て練習に取り組んでいます。

今年度男子部は東医体でベスト4を目指して練習に励んでいましたが、ベスト16で終わり悔しい思いをしました。女子部は、医学部の部員の人数が少なく、医歯薬リーグと看護リーグに出場しました。上級生がチームをまとめあげ、看護リーグ・医歯薬リーグともに優勝することができました。

4年生以下が中心の若いチームではありますが、より質の高い練習を積み重ね、さらに上を目指せるようチーム一丸となって努力していきます。

(寄稿/医学バレーボール部主将 吉井恭平・医学2年)



弓を引く場面

## 医学弓道部

医学弓道部は平成21年に設立された新しい団体で、今年で9年目となります。現在では65名まで部員が増え、他大学に引けをとらないほどになりました。『いい弓を引いていい医療者になろう。自分の体の動かし方を知らない、患者さんの痛みもわからない。』との先生のお言葉を胸に、これからも新しい「医弓」の伝統を築くべく稽古に励んでいます。練習は火曜・金曜の週2回の正規練習があり、それに加え、自主練習にも多くの部員が参加します。1年生の育成にも力を入れており、土曜日には1年生の指導を重点的に行っております。

昨年は団体戦では年2回の関東医科学生弓道大会2連覇、看学戦第3位、医弓では主に2年生が出場する予科戦での準優勝という成績で、個人戦でも部員が多数入賞し、部の着実な成長を感じる1年でした。今年も部員一同東医体・看学戦優勝を目指し、練習に励んでいきたいと思っております。

(寄稿/医学弓道部 藪田薫理・医学4年)

## お詫び

紫峰の風第7号に掲載しました「1年間を振り返って」の「文化系サークル連合体」執筆者の所属を「人文社会学群人文学類3年」としておりました。正しくは「人文・文化学群人文学類3年」となります。ご迷惑をお掛けした関係各位には深くお詫び申し上げます。